

メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 第61号 〔2014年3月号〕

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。
JAM 会報メール第61号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へJAMの最新の活動をほぼ毎月中～下旬ごろ会報メールにて発信いたします。
今後ともどうぞよろしく願いいたします。

<目次> [ページ]

会報登録に hotmail アドレスをご利用の皆様へ

メソトマンスリー

国内から

編集後記

次号の予定



会報登録に hotmail アドレスをご利用の皆様へ

平素より当会の活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

最近、hotmail のアドレスに会報が届かないというトラブルが発生いたしましたので先月号に引き続き、再度、ご案内させていただきます。

詳細を調べましたところ、hotmail は特にセキュリティ対策が厳しく、受信許可設定が為されていないと拒否されてしまう場合があることがわかりました。

会報の配信状況としましては、昨年8・9月号は合併号といたしましたが、その後は毎月配信しております。万が一、毎月届いていないという状況がございましたら、受信拒否されている可能性があります。

お手数ですが下記の要領にて、受信許可設定をさせていただきますよう、お願いいたします。

<hotmail 受信許可の仕方>

- ①画面右上のアカウント名左の設定ボタンをクリック（歯車の形をしたボタンです。カーソルを持っていくと「オプション」と表示されます）
- ②「メールの詳細設定」 をクリック
- ③「差出人セーフリストと受信拒否リスト」 をクリック
- ④「受信許可メーリングリスト」に「ml@japanmaetao.org」 を追加。

ご不明な点はお問い合わせください。

会報が届かず、これまで毎月お読みいただけなかった皆様には、ご案内が遅くなりまして大変申し訳ございませんでした。深くお詫びいたします。過去のメールマガジンは当会ホームページよりお読みいただけますので、ぜひご覧ください。

今後も、会報を通じてメータオ・クリニックおよび当会の活動の様子を皆様へお届けしてまいります。

国内の民主化の影響を受け、少しずつ変化を見せるタイ-ミャンマー/ビルマ国境の情勢ですが、当会はその実情に合わせて、ミャンマー/ビルマ難民が安心して健やかに暮らせる日が訪れるまで、彼らに寄り添いながら活動を継続していきます。

今後も、あたたかく私たちの活動を見守り、応援していただければ幸いです。引き続きご支援くださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



メソトマンスリー



【メソト＝田畑 彩生】

外科病棟の前で何やら集まるご家族とスタッフの姿が…

あれーっ！みんなでガーゼをたたんでいます。

メータオ・クリニックの病棟には、患者さんのご家族も一緒に滞在しています。

傷を洗ったり、消毒をしたりと毎日たくさんのガーゼが外科病棟では使われています。そのガーゼの作成を手伝っているのは患者さんのご家族でした。皆さんの慣れた手つきには恐れ入りました。小さくたたまれたガーゼは、これから JAM に頂いたご支援で導入した IPU(感染管理室)にある高温蒸気滅菌機で、清潔なガーゼへと滅菌されます。1日も早く入院している家族が患者さんが良くなりますように。そんな思いのこもったガーゼは、白い折り鶴のように見えました。今日も 1,000 羽の白いガーゼがひとつひとつ大切に折られます。

少しずつ陽射しと暑さが増すメソト、タジャン(水掛け祭り)ももうすぐそこです。



今月のひと

マヒドン大学寄生虫学の先生たちと協同する夢

先日、マヒドン大学の熱帯医学寄生虫学講座の先生方がメーソットを訪問、メータオ・クリニックへ学校保健部門のスタッフに会いに来て下さいました。

「ここは、診療所じゃない、大きな病院だわ。今回、初めて見に来ました。本当に驚いた！今日は突然だったけれど、来れて良かったです。」

学校保健部門のソータンルイン先生もサンミントウン先生も大喜び、みんなで記念撮影です。



【左1人目、サンミントウン先生、左2人目、プー教授、マヒドン大学の先生方、右2人目、ソータンルイン先生】

昨年の12月学校保健研修会では、先生方にはクリニックの学校保健スタッフと私がとてもお世話になりました。

その研修場所となったマヒドン大学でお知り合いになったプー教授。タイの伝統的な生野菜の料理「ソムタム」に使われる川カニに生息する寄生虫を専門に、十数年研究されています。「メソットには寄生虫がたくさんいる事が分かりました。今回の旅では、メソットの野ネズミからタイの他の地域では見つからない寄生虫が見つかりましたよ。嬉しい大きな収穫です！またメソットへ来ますね。」と素敵な笑顔で話して下さいました。彼女は、17歳の高校生の息子さんのいるお母さん研究者。「子育てと研究の両立は大変。ほとんど夫が子育てしてくれた

みたいなものね。」

日本と同じようにタイでもまだまだ女性の研究者に保育制度や育児援助制度は整っていないのだと話して下さいます。「それでも好きだからこれまで続けて来れたのかなー。」

タイ語でプーは蟹の意味。

もしかして、もしかしてプー教授って名前じゃなくてニックネームだったりして…カニ取りをこよなく愛するプー教授は、女性としても研究者としてもお母さんとしてもとても魅力的な方でした。

このプー教授とサンミントウンさんが移民学校の学生の寄生虫感染に関して協働出来ないかと12月から模索して来ました。プー教授は、クリニックの検査室スタッフの技術向上トレーニングを含め、寄生虫の見付け方などを専門的に教える事が出来るとのこと。それを聞いて私と一緒にテンションの高めなサンミントウンさんは移民学校の寄生虫駆除現状調査と学校・地域への健康教育の実施に俄然、やる気満々です。「学会で何か発表出来るといいね。」夢は膨らみます。「楽しい・興味深い・好き・地域の為に一緒に何かをしたい」そんな純粋な思いから生まれたこの学校保健の貴重な事業を、素敵な皆さんの思いを形に出来るお手伝いが出来たら、この上なく私も幸せです。アチャン・プー(プー教授)これからも宜しくお願ひします。



【学校保健研修会・学会にて、先生方と一緒に】

国内から

【東京＝斉藤つばさ】

みなさま初めまして。昨年のスタディーツアーに参加させていただいてから、スタディーツアーで感じたJAMのアットホームな雰囲気に着かれて会員になりました斉藤です。

私はこの春から看護師になる予定の看護学生です。今回は、私が国際支援に興味をもったきっかけを書いてみようと思います。

私が小学生のころ「世界がもし100人の村だったら」という本が流行っていました。この本は、題名のとおり世界を100人の村と仮定し、世界の状況を簡潔に表している内容の絵本です。

ある日、道德の授業でも扱われました。その時、「ある国の町は貧しいが、ある程度の設備がある病院が支援で建てられた。けれど、病院が出来てからは支援がなくなってしまい、今では壊れた機械と少ない医薬品しかない。町の住人は遠い病院まで行くことになってしまった。」あなたはどんなことを感じましたか？また、あなたならどんなことができるでしょうか？というような内容を話し合う授業がありました。そこでは、お金を送る、機械を新しく送るなどの意見があがりました。

その次の授業では、実際に開発途上国で看護師として活動していた方の話を聞く機会がありました。それを聞いて現地で看護師として働くという手段もあるということを知りました。私はその授業を受けて、医療設備の充実した日本との違いを知ったことや、その方がすごく楽しそうに体験談を話している様子を見て、国際支援に対して抱いていたイメージとの違いに衝撃を受けました。この授業をきっかけに、海外へ行って支援をするということが身近に感じられるようになり、そのような活動に携わる看護師になりたいなと思うようになりました。

先日国家試験がおわり、授業のプリントなどをまとめていたところ、4年間の教科書が100cm、レジュメが50cm、その他のものと合わせて2mほどの高さになり、4年間の学びの量に驚きました。

春からは、目標としていた看護師として働きます。これから辛いこともあると思いますがくじけずに頑張っていきたいと思います。





この間鎌倉にいった時、桜が咲いていて春を感じました。

編集後記

3月は、JAMのお誕生日です。今月で6歳になりました。
まだ6年かぁという思いと、もう6年たったのか・・・という思いが混ざります。

いつも支えてくださる皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。
そしてまだまだ課題は山積みで発展途上の団体ではありますが、今後とも、応援をどうぞよろしくお願いします。

次号の予定

次号は、4月中～下旬ごろ配信の予定です。
ホームページは、随時更新していきますので ぜひ、お時間があるときにご覧ください。
Facebookにもぜひ「いいね！」をよろしくお願いします。



NPO法人メータオ・クリニック支援の会 Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)

日本事務局宛て E メール： support@japanmaetao.org



ホームページアドレス : www.japanmaetao.org

フェイスブック : Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM) で検索して下さい。

※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。

